

議案第 38 号

令和 4 年度久御山町下水道事業会計補正予算（第 1 号）

（総則）

第 1 条 令和 4 年度久御山町下水道事業会計の補正予算（第 1 号）は、次に定めるところによる。

（収益的収入及び支出）

第 2 条 令和 4 年度久御山町下水道事業会計予算第 3 条に定めた収益的支出の予定額を次のとおり補正する。

（科目）	（既決予定額）	（補正予定額）	（計）
支 出	千円	千円	千円
第 1 款 下水道事業費用	757,780	1,316	759,096
第 3 項 特別損失	0	1,316	1,316

令和 4 年 6 月 14 日提出

久御山町長 信 貴 康 孝

予算に関する説明書

- 第1 令和4年度久御山町下水道事業会計補正予算（第1号）実施計画
- 第2 令和4年度久御山町下水道事業補正予算（第1号）予定キャッシュ・フロー計算書
- 第3 令和4年度久御山町下水道事業予定貸借対照表
- 第4 注記表

第1 令和4年度久御山町下水道事業会計補正予算（第1号）実施計画

収益的収入及び支出

支 出

(単位：千円)

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備 考
1	下水道事業費用		757,780	1,316	759,096	
	3	特別損失	0	1,316	1,316	
		4 過年度損益修正損	0	1,316	1,316	

第2 令和4年度久御山町下水道事業補正予算(第1号) 予定キャッシュ・フロー計算書  
(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

(単位:千円)

区 分	補 正 前	補 正 額	計
1 業務活動によるキャッシュ・フロー			
当年度純利益 (△は純損失)	35,176	△ 1,210	33,966
未払金の増減額 (△は減少)	33,911	△ 106	33,805
小計	251,244	△ 1,316	249,928
業務活動によるキャッシュ・フロー	211,494	△ 1,316	210,178
資金増加額(又は減少額)	92,377	△ 1,316	91,061
資金期末残高	429,187	△ 1,316	427,871

第3 令和4年度久御山町下水道事業予定貸借対照表  
(令和5年3月31日)

(単位：千円)

資 産 の 部

1 固 定 資 産

(1) 有 形 固 定 資 産

ア 構 築 物	10,518,538		
減価償却累計額	1,847,492	8,671,046	
イ 機 械 及 び 装 置	143,131		
減価償却累計額	56,975	86,156	
ウ 車 両 運 搬 具	1,184		
減価償却累計額	426	758	
エ 工 具 器 具 及 び 備 品	1,547		
減価償却累計額	816	731	
オ 建 設 仮 勘 定		45,363	
有形固定資産合計			8,804,054

(2) 無 形 固 定 資 産

ア 施 設 利 用 権		854,673	
無形固定資産合計			854,673

固定資産合計 9,658,727

2 流 動 資 産

(1) 現 金 ・ 預 金

427,871

(2) 未 収 金

ア 営 業 未 収 金	85,895	85,895	
未収金貸倒引当金		588	85,307

流動資産合計 513,178

資 産 合 計 10,171,905



## 第4 注記表

### I. 重要な会計方針

#### 1 固定資産の減価償却方法

##### (1) 有形固定資産

・減価償却の方法 定額法

・主な耐用年数

構築物 10～50年

機械及び装置 10～20年

車両運搬具 5年

工具器具及び備品 5年

##### (2) 無形固定資産

・減価償却の方法 定額法

・主な耐用年数

施設利用権 45年

#### 2 引当金の計上方法

##### (1) 退職給付引当金

本町は、京都府市町村職員退職手当組合に加入しており、下水道事業会計は、当該組合に一般負担金を拠出しているが、一般会計との間での「久御山町下水道事業会計に属する企業職員に対する退職手当の一般会計負担額に関する協定書」に基づき、追加的な費用負担である当該組合への特別負担金は、全額一般会計において措置することとなっているため、下水道事業会計においては退職給付引当金を計上せず、一般負担金拠出時に費用処理を行っている。

##### (2) 賞与引当金

職員の期末手当及び勤勉手当の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

##### (3) 法定福利費引当金

職員の期末手当及び勤勉手当に係る法定福利費の支出に備えるため、当年度末における支出見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

##### (4) 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上している。

#### 3 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。

## II. 予定貸借対照表等関連

### 1 担保に供している資産及びこれに対応する債務

該当事項なし

### 2 企業債の償還に係る他会計の負担

貸借対照表に計上されている企業債（当該年度末日の翌日から起算して1年以内に償還予定のものも含む。）のうち、他会計が負担すると見込まれる額は795,787千円である。

### 3 重要な係争事件に係る損害賠償義務等に関する事項

該当事項なし

### 4 引当金の取崩し

#### (1) 賞与引当金の取崩し

令和4年度において、期末手当及び勤勉手当として5,314千円を支給するため、賞与引当金1,571千円を取り崩す。

#### (2) 法定福利費引当金の取崩し

令和4年度において、期末手当及び勤勉手当に係る法定福利費として1,070千円を支出するため、法定福利費引当金319千円を取り崩す。

#### (3) 貸倒引当金の取崩し

令和4年度において、債権43千円を不納欠損処理するため、貸倒引当金43千円を取り崩す。

## III. セグメント情報の開示

単一セグメントであるため、記載を省略している。

## IV. 予定キャッシュ・フロー計算書等関連

### 1 重要な非資金取引

該当事項なし

## V. 重要な後発事象

該当事項なし

説明資料

令和4年度久御山町下水道事業会計補正予算（第1号）実施計画明細書

収益的收入及び支出

支 出

第1款 下水道事業費用

第3項 特別損失

(単位：千円)

目 節	既決予定額	補正予定額	計	備 考
4 過年度損益修正損	0	1,316	1,316	
74 過年度損益修正損	0	1,316	1,316	